
「消化器病センターにて発生した転倒転落事例に対する実態調査」に関するお知らせ

このたび、当院で入院した患者さんの転倒事例を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、当院臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年04月01日から2024年03月31日の期間にD3階病棟に入院し、転倒転落発生した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

2023年度に発生した転倒転落事例22件を詳細に振り返り、多角的に分析することで、転倒転落予防行動を明らかにいたします。

3. 研究期間

臨床研究 IRB 承認日～2025/3/31

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの年齢、性別、疾患、治療方針、既往歴、入院前の生活環境、発生時の日常生活動作、転倒の種類・原因、転倒転落アセスメントシート評価状況（靴・転倒リスクバンドの装着状況）、せん妄アセスメントシート評価状況、認知症アセスメントシート評価状況、転倒リスク薬剤内服状況、治療による症状（脱水・下痢・疼痛・感染など）の有無、ドレーン・チューブの挿入状況、転倒転落発生時刻

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である浅見 直人が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

転倒転落事例のインシデントレポートならびに診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学国際医療センター D3階病棟 浅見 直人（研究責任者）

- ・ 埼玉医科大学国際医療センター D3 階病棟 小玉 友紀
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター D3 階病棟 小林 祥一
- ・ 埼玉医科大学国際医療センター 下部消化器外科 平能 康充

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター D3 階病棟 浅見 直人

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4399

○研究課題名：消化器外科病棟にて発生した転倒転落事例に対する実態調査

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター D3 階病棟 浅見 直人